

第3回ウイルス性肝炎領域における広島県医療安全講習会

■ 背景

B型肝炎およびC型肝炎ウイルスについては、治療せずに放置すると肝硬変や肝がんに進化する恐れがありますが、肝炎ウイルス陽性となっているがまだ治療に結び付いていないケースがあります。令和4年に改訂された「肝炎対策基本指針」（肝炎対策基本法9条1項）において「医療機関は、肝炎ウイルス検査の結果について確実に説明を行い、受診につなげるよう取り組む」と対策を促されている状況にあります。また令和5年3月9日に厚労省から「手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果を踏まえた受診・受療・フォローアップの推進等の医療機関管理者への協力依頼」（健が発0309第2号）が発出され、より医療機関への対応が求められています。

■ 目的

広島県内の医療機関内において、肝炎ウイルス検査結果の告知漏れを防ぐと共に、肝炎ウイルス検査において陽性となった患者を専門医受診に繋げる仕組みを構築する事により、肝炎患者の早期発見と治療を図り、肝癌発症予防及び重症化を予防し県民の医療福祉の向上に資する事。

■ 開催概要

1. 日時：令和8年2月3日（火） 19:00 ～ 20:15
2. 形式：Web 配信（zoom ウェビナー） 聴講形式は Web のみ
3. 対象者：広島県内の病院および有床診療所の施設管理者、診療部門責任者、医療安全責任者、その他管理者が適切と認めた者、肝炎医療コーディネーターもしくはその候補者等

当日は下記 URL 又は二次元コードより事前登録頂きご参加下さい。

<https://abbv.ie/HMSC2026>

ウェビナーID：996 3966 4205 ウェビナーのパスコード：494418



■ 講演会内容

セッション1 座長：広島大学病院 肝疾患センター 教授 柘植 雅貴 先生

講演1 19:00 ～ 19:15 「広島県における肝炎の重症化予防対策」

広島県健康福祉局薬務課 肝炎対策グループ

講演2 19:15 ～ 19:30 「医療安全部門が導く肝炎検査結果説明システムの構築

～システム運用後にわかった成功の秘訣～」

公立西知多総合病院 看護師長 医療安全管理室長 赤城 香 先生

セッション2 座長：広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎 先生

特別講演 19:30 ～ 20:15 「患者参加型医療と検査結果告知漏れ対策」

板橋中央総合病院 副院長 小松 康宏 先生

共催：広島県、アッヴィ合同会社

後援：広島県看護協会